

# 茅野駅周辺の賑わい創出に向けた西口駅前広場の 社会実験の実施結果について



都市計画課

# 社会実験概要

茅野駅西口駅前広場の将来像として描いた広場空間・ツインロータリーの設置及び広場空間の活用により、人々の行動・活動・駅周辺空間の日常へ与える影響について検討・検証すること

【実施期間】令和4年9月21日(水)～27日(火) 6時～20時 / 滞留空間の創出は10時～16時

※蓼科高原映画祭9月17日(土)～25日(日)、ブックフェスタジャパン2022in茅野9月23日(金)～24日(土)

## 検証事項

①茅野駅周辺の賑わい向上や経済的な活性化が促進される取組についての検証  
・賑わいの創出  
・駅から広がるおもてなし

②ツインロータリー計画の検証  
・安心・快適な空間づくり  
・交通結節機能の充実

## 実施内容

①滞留空間の創出(居られるひろば空間)  
・居場所づくり(人工芝、テーブル・イス等の設置)  
・飲食の提供(キッチンカーの誘致)  
・フリーWiFiの設置

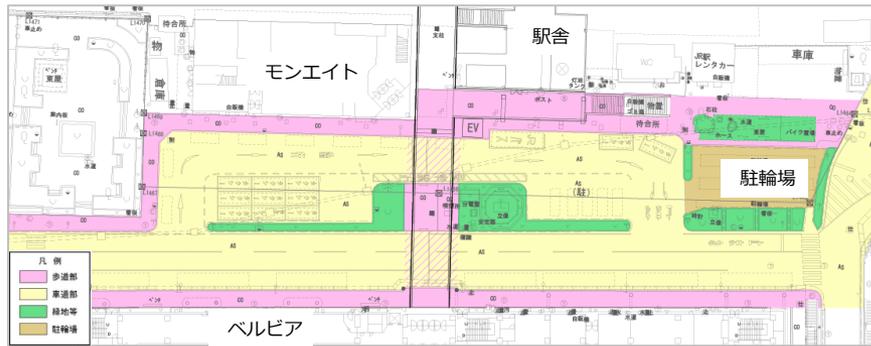
②仮設ツインロータリーの創出  
・一般車両用ロータリーとタクシーロータリーの分離  
・上記に伴う滞留空間の創出

## 効果検証

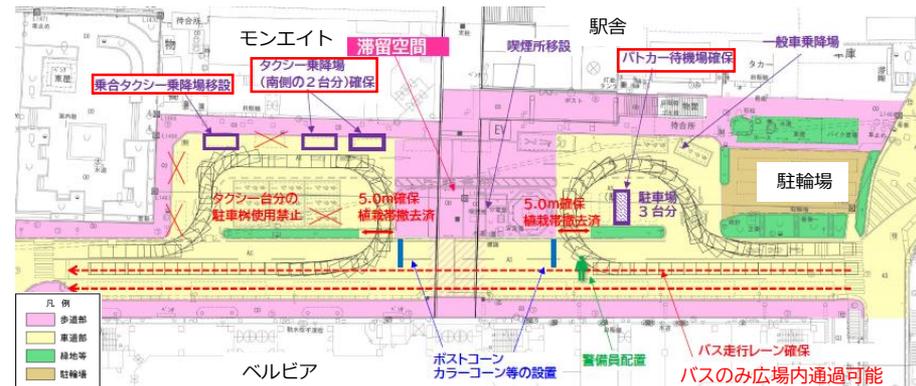
・滞留状況の記録  
・滞留者へのニーズ聞き取りアンケート  
・ニーズパネルアンケート  
・周辺店舗へのアンケート

・交通状況の記録  
・滞留者及び運転者へのアンケート  
・交通事業者(バス・タクシー)へのアンケート

【平時の西口駅前広場】



【社会実験時の西口駅前広場】滞留空間の創出と仮設ツインロータリーの創出



歩道部



ロータリー南側



創出した滞留空間



ロータリー南側 (一般車両用)

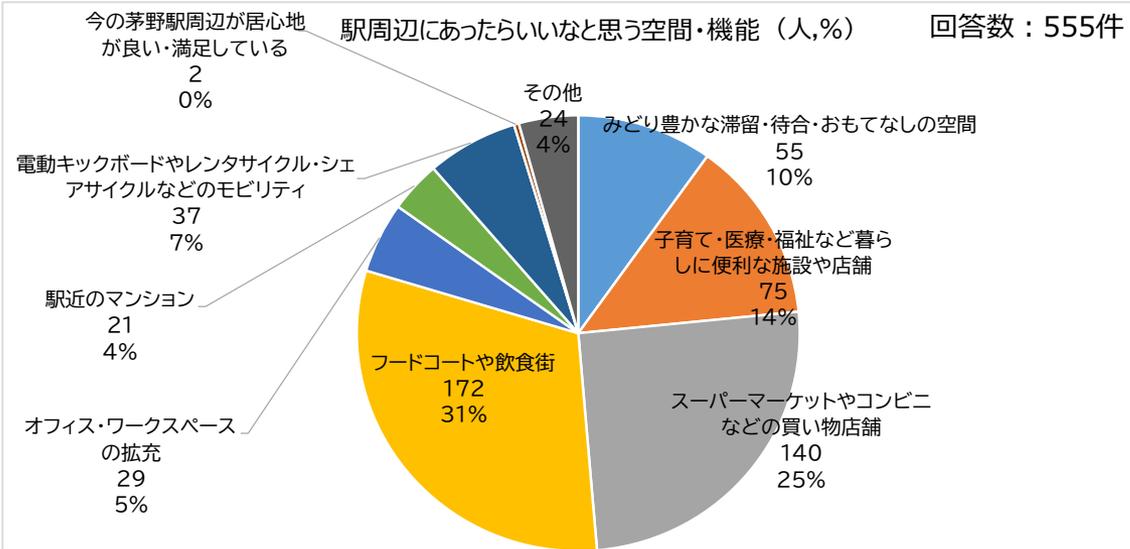
# パネルアンケート 結果概要

## 【実施方法】

パネルアンケートを設置し、年代ごとに色分けしたシールで、駅周辺にあったらいいなと思う空間・機能について意見収集をする。

パネルアンケートは、創出した滞留空間及び自由通路に設置。用紙は日毎に張り替え。

## ● 駅周辺にあったらいいなと思う空間・機能

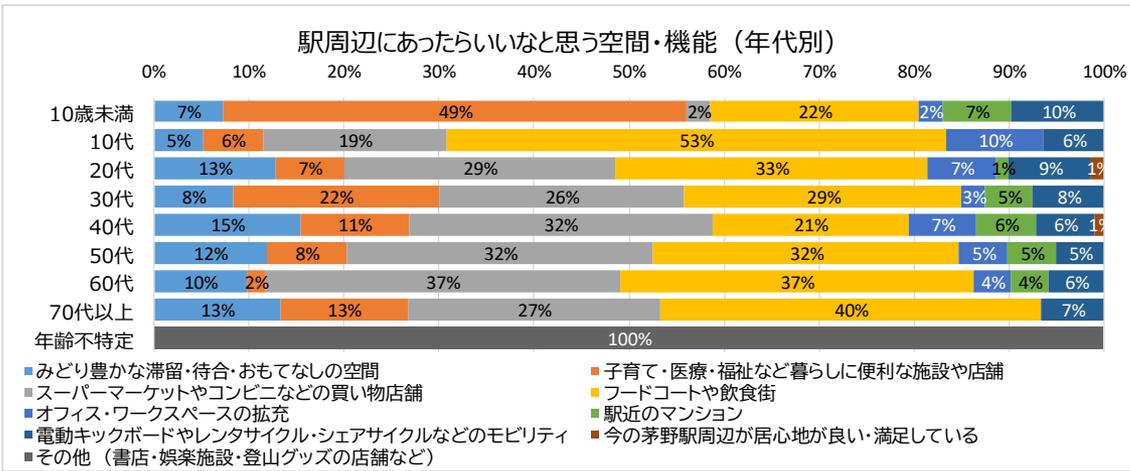


・駅周辺には、フードコートや飲食街へのニーズが最も多く約3割、次いで買い物店舗が2.5割と高い

・年代別でも同様の結果だが、10歳未満(親と共に投票)と30代では子育て・医療・福祉など暮らしに便利な施設や店舗のニーズが高まっていた

・みどり豊かな滞留・待合・おもてなしの空間にも一定数のニーズがみられた

## 【回答の様子】



# 聞き取りアンケート 結果概要(歩行者)

## 【実施方法】

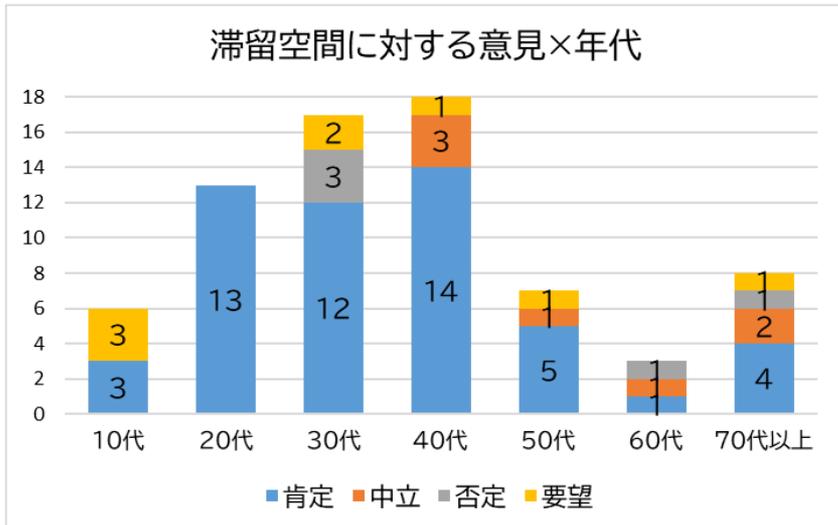
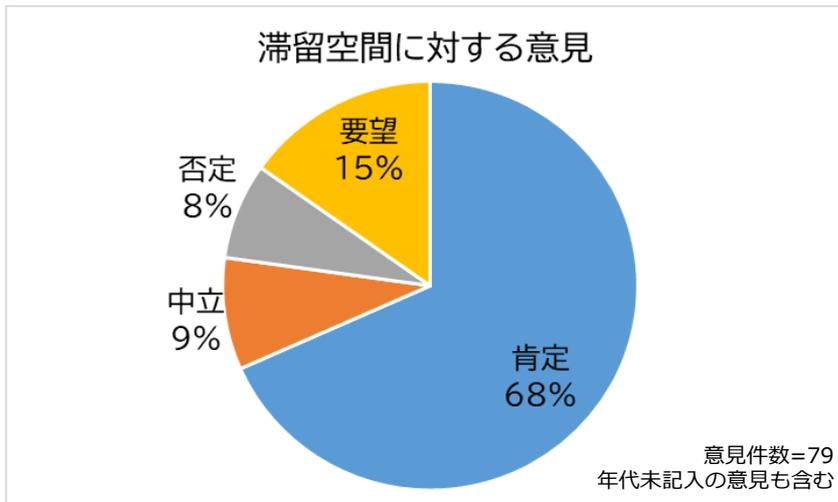
西口駅前広場エリア、自由通路エリアに分け、社会実験に興味を持っているかに関わらず、多様な滞留者や通行者から聞き取りを実施

## 【回収数】

216件。うち、滞留空間について、「知っていた」または「利用した」方から、滞留空間創出の評価を取りまとめた

## ●滞留空間創出の評価

・滞留空間については、肯定的な意見が6割以上



分類	代表的な意見(居住地/年代/来訪頻度)
肯定 54人 市内 24人 市外 29人 未記入 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工芝があり、アスファルトの照り返しで日焼けを気にしなくてよいので、風がなければ滞在したい。(茅野市/10代/ほぼ毎日)</li> <li>茅野駅の待合室は狭くて待つところがないので待ち合い空間があるのは良い。涼しくて風も心地よい。以前あずさが1時間遅れになった時、時間を潰す場所なくて困ったことがある。(東京都/40代/年数回)</li> </ul>
中立 7人 市内 3人 市外 4人	<ul style="list-style-type: none"> <li>あれば使う程度でなんともいえない。(茅野市/40代/年数回)</li> <li>良くも悪くもない。(船橋市/40代/年数回)</li> </ul>
否定 6人 市内 3人 市外 3人	<ul style="list-style-type: none"> <li>電車も正確で外で待つ必要はない。人の流れがないので、ロータリーの中に空間があっても排気ガスの中に座りたくない。(茅野市/60代/週に1回以上)</li> </ul>
要望 12人 市内 7人 市外 4人	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども館は3歳までなので、駅前に子どもの遊び場があった方がよい。(茅野市/30代/月に1回程度)</li> <li>東口にも休憩空間がないので、待ち時間を過ごせるオープンカフェスペースやテラスがあれば良い。(東京都/30代/年数回)</li> </ul>

# 聞き取りアンケート 結果概要(歩行者)

## 【実施方法】

西口駅前広場エリア、自由通路エリアに分け、社会実験に興味を持っているかに関わらず、多様な滞留者や通行者から聞き取りを実施

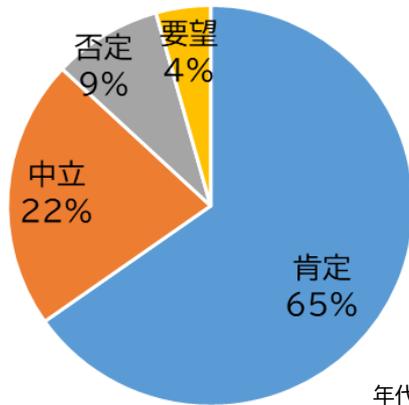
## 【回収数】

216件。うち、滞留空間について、「知っていた」または「利用した」方から、仮設ツインロータリーの評価を取りまとめた

## ● 仮設ツインロータリーの評価

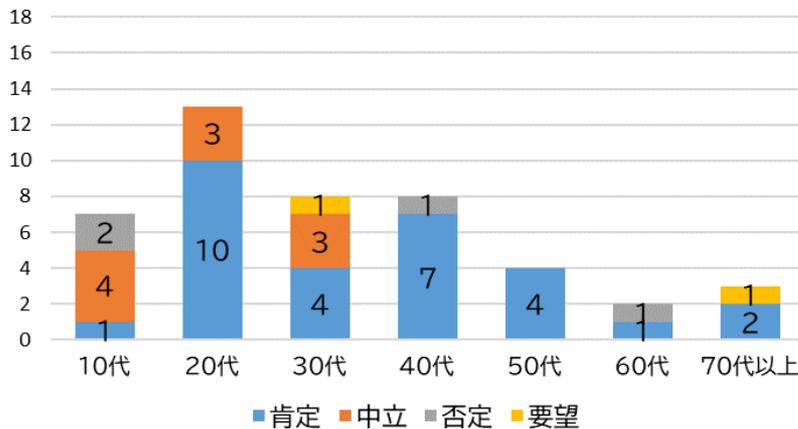
・ロータリーについては、肯定的な意見が6割以上、中立的な意見(変わらない・関係ない等)が約2割

ロータリーに対する意見



意見件数=46  
年代未記入の意見も含む

ロータリーに対する意見×年代



分類	代表的な意見(居住地/年代/来訪頻度)
肯定 ___ 30人 市内 13人 市外 17人	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段は通勤で電車利用をしており、自宅から徒歩で駅にくるが、車と人が錯綜して危険を感じる。今回の取組みは安全でよい。(茅野市/50代/週に1回以上)</li> <li>バスを降りて道路を渡る時、子どもには危ないと思っていたので、この方が良さそう。一般送迎車は大変かもしれないが、東口を使ってもらえば西口はツインロータリーでも良さそう。(東京都/40代/年数回)</li> </ul>
中立 ___ 10人 市内 6人 市外 4人	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗り換えには関係ない。(茅野市/20代/月に数回)</li> <li>西口広場を通り抜けられないのは不便だが、誘導されて慣れれば問題ないかもしれない。(岡谷市/20代/ほぼ毎日)</li> </ul>
否定 ___ 4人 市内 3人 市外 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>混んでる印象がある。それが改善されるのであれば良いが、より混んでしまうのは良くない。(茅野市/10代/ほぼ毎日)</li> </ul>
要望 ___ 2人 市内 1人 市外 4人 未記入 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>のらぎあ待ちの際、屋根の下で座れる場所が欲しい。これから寒くなり雪が降ると、この場所で待つのは耐えられない。従来通り交番前の方が良い。(茅野市/70代/週に1回以上)</li> </ul>

# 聞き取りアンケート 結果概要(ドライバー)

## 【実施方法】

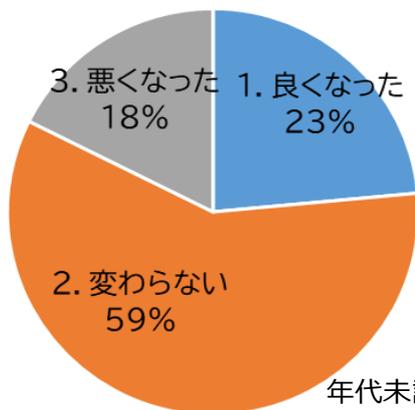
ロータリー内にて送迎待ち等で停車しているドライバーへ聞き取りを実施

## 【回収数】

93件。未回答は集計から除く。

## ●仮設ツインロータリーの感想

社会実験期間中の駅前広場の安全性

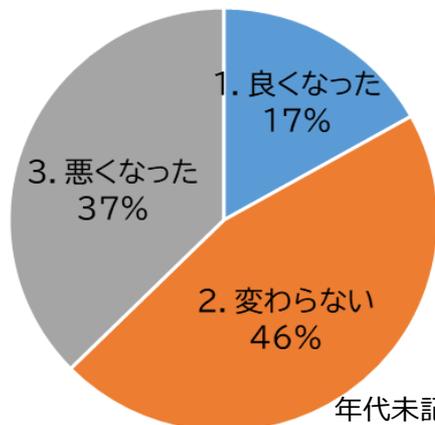


年代未記入の意見も含む

- ・安全性については約6割、利便性については約5割が「変わらない」との回答がそれぞれ最も多かった
- ・一方で、利便性については「悪くなった」との回答が約4割

安全性	計	平日	休日
良くなった	20 24%	8 36%	12 19%
変わらない	50 59%	8 36%	42 67%
悪くなった	15 18%	6 27%	9 14%
合計 (n)	85 100%	22 100%	63 100%

社会実験期間中の駅前広場の利便性



年代未記入の意見も含む

- ・利便性が悪くなったとの回答が約4割を占めた。
- 要因として、今回の一般車ロータリーは、基本計画のみならず、平常時の西口ロータリーよりも収容台数が少なかったことが想定される。

性別	計	平日	休日
良くなった	14 17%	5 24%	9 15%
変わらない	38 46%	8 38%	30 48%
悪くなった	31 37%	8 38%	23 37%
合計 (n)	83 100%	21 100%	62 100%

(参考 最大停車台数)  
 平常時の西口ロータリー:  
 20台(タクシーと輻輳)  
 社会実験時の一般車ロータリー:  
 10台  
 基本計画の一般車ロータリー:  
 34台

# 交通事業者 事後アンケート

## 【実施方法】

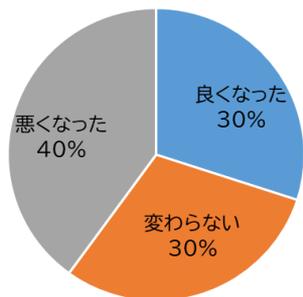
バス、タクシー事業者へ事後アンケートを実施

## 【回収数】

20件。未回答項目は集計から除く。

## ● 仮設ツインロータリーの感想

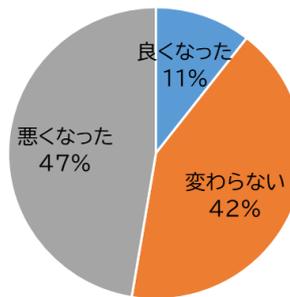
社会実験期間中の駅前広場の安全性



	計
良くなった	6 30%
変わらない	6 30%
悪くなった	8 40%
合計 (n)	20 100%

・仮設ツインロータリーの安全性については、悪くなったが約4割で最も多く、良くなった、変わらないが3割

社会実験期間中の駅前広場の利便性

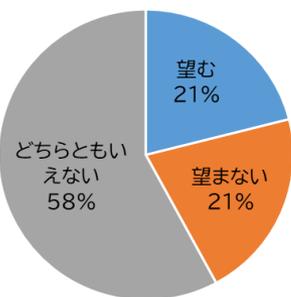


	計
良くなった	2 11%
変わらない	8 42%
悪くなった	9 47%
合計 (n)	19 100%

・仮設ツインロータリーの利便性については、悪くなったが約半数を占める一方で、変わらないとの回答も約4割で多く、良くなったとの回答は約1割に留まった

## ● ツインロータリー実現への意向

「ツインロータリー」の実現について



	計
望む	4 21%
望まない	4 21%
どちらともいえない	11 58%
合計 (n)	19 100%

・仮設ツインロータリーの実現について、どちらともいえないが約6割となり、望む・望まない、それぞれ約2割

# ● 滞留空間（居られるひろば空間）創出にかかる実施効果の概要

## 検証事項

## 実施効果

「待ち合わせ」や「休憩」等を目的としたひろば空間の利用

- ・滞留空間に対する肯定的な意見が20～40代に多くみられた。
- ・創出した滞留空間での、電車等の待ち時間を利用した休憩や飲食、遊びの姿が見られた。
- ・イベント(発表)等の目的に併せた来訪と、来訪者の滞在が見られた。
- ・ベンチ等の居場所を求める声が多く、子供も学生も気兼ねなく滞在できる場が多く求められていることが確認できた。

ひろば空間の利用  
+  
ひろば空間内の各コンテンツ  
(キッチンカー、無料wifi等)の利用

- ・キッチンカーの利用、キッチンカーを目的とした来訪者が見られた一方、無料wifi利用を目的とした来訪は見られなかった。
- ・屋外での気軽な飲食の場として、キッチンカーのニーズが確認できた。
- ・コンビニやフードコート等、待ち時間に応じた滞在や利用ができるコンテンツへの高いニーズが確認できた。特に10代にフードコートや飲食街のニーズが高かった。

ひろば空間の創出  
↓  
ベルビア店舗・駅周辺の商業  
施設の利用促進(支出増加)

- ・利用額は1,000円未満が約6割、3,000円未満で9割を占め、消費額は低いものの、滞留者の約6割が、駅周辺施設やキッチンカー等を利用したことが確認できた。

ひろば空間の創出による  
ベルビア等、駅周辺の  
商業施設の活性化

- ・社会実験期間中の周辺店舗への影響は、変わらないとの回答が最も多いが、売上が減ったとの回答よりも増えたとの回答の方が若干多い傾向が確認できた。
- ・滞留空間創出が、普段より賑やかな印象を与えたことを確認できた。

# ● 仮設ツインロータリー創出にかかる実施効果の概要

## 検証事項

## 実施効果

ツインロータリーによる  
安心・快適性の向上  
(送迎等の一般車)

・仮設ツインロータリーの創出に伴い、ロータリーの規模が小さいことや入口が狭いことを理由に、ロータリーに進入しない一般送迎車が多く見られた。  
・安全性については約6割、利便性については約5割が「変わらない」との回答がそれぞれ最も多い一方で、利便性について「悪くなった」との回答が約4割と多く、利便性についての課題が確認できた。

ツインロータリーによる  
安心・快適性の向上  
(バス・タクシー・荷捌き)

・安全性や利便性について、「悪くなった」との回答が約4割と最も多い一方で、実現に向けては「どちらともいえない」が約6割を占め、今回創出したロータリー形状では、ツインロータリーの安全性・利便性を十分に計ることができなかった。

ツインロータリーによる  
安心・快適性の向上  
(歩行者)

・人と車の錯綜や、タクシーと一般車の錯綜がなくなり、安全に感じるといった、ツインロータリーに肯定的な回答者が約7割で、否定的な回答は約1割に過ぎず、ツインロータリーへのニーズが確認できた。  
・特に20～40代に肯定的な回答が多い傾向にあった。

駅からの動線の確保による  
バルビア等、駅周辺の  
商業施設の活性化に向けた  
利便性の向上

・バルビア店舗利用者にとって、今回創出したツインロータリーにかかる動線が、必ずしも利便性向上につながったとは言えない結果となった。